

# 1 乳用牛

## (1) 飼養戸数・頭数

平成23年2月1日現在（以下「平成23年」という。）の全国の乳用牛の飼養戸数は2万1,000戸で、前年に比べて900戸（4.1%）減少した。

飼養頭数は146万7,000頭で、前年に比べて1万7,000頭（1.1%）減少した。飼養頭数の内訳をみると、経産牛は93万2,900頭で前年に比べて3万900頭（3.2%）減少し、未經産牛は53万4,400頭で前年に比べて1万3,900頭（2.7%）増加した。

なお、1戸当たりの飼養頭数は69.9頭で、前年に比べて2.1頭増加した。

図1 乳用牛の飼養戸数・頭数の推移

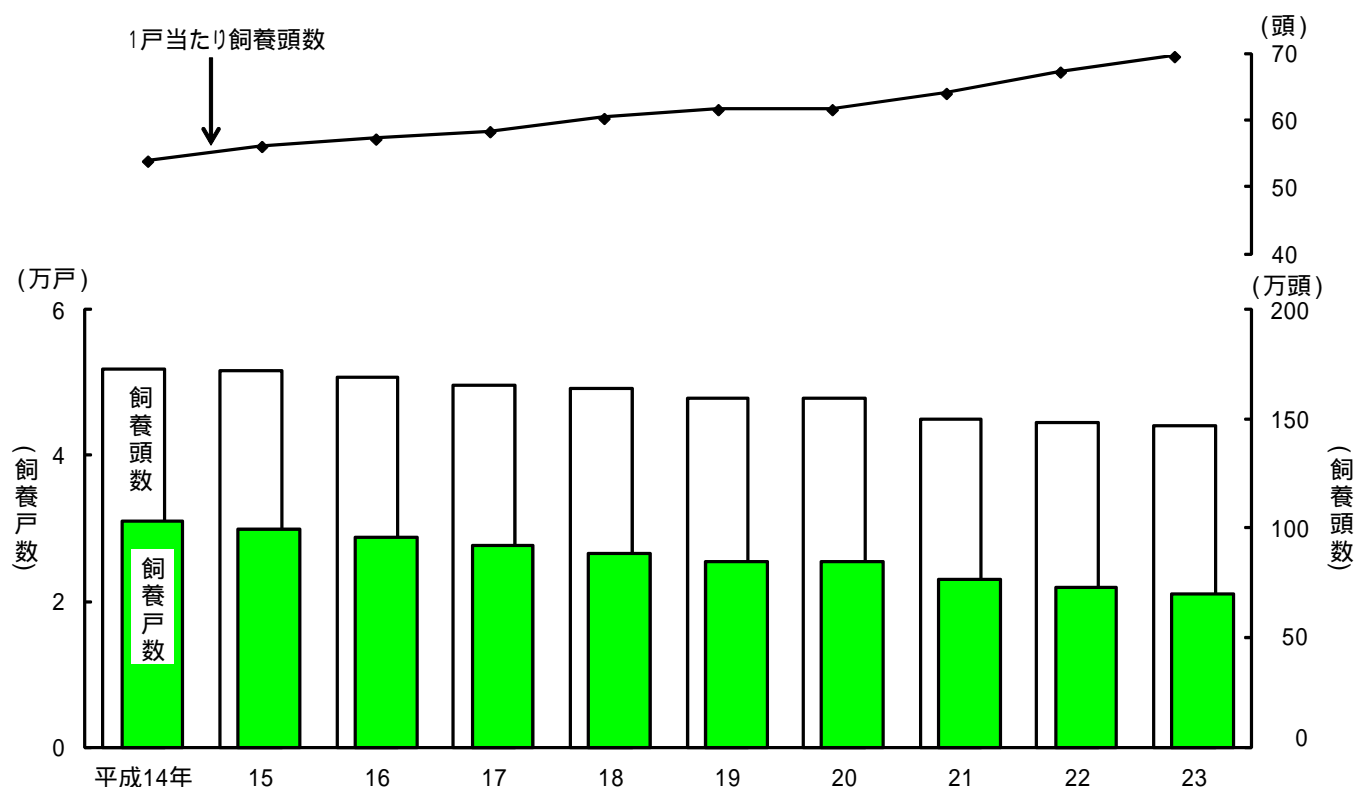


表1 乳用牛の飼養戸数・飼養頭数

区分	飼養戸数	飼 養 頭 数					1戸当たり飼養頭数	
		計	経 産 牛			未經産牛		
			小 計	搾乳牛	乾乳牛			
	戸	千頭	千頭	千頭	千頭	千頭	頭	
実 数 平成 21年	23,100	1,500.0	985.2	848.0	137.2	514.8	64.9	
	22	21,900	1,484.0	963.8	829.7	134.1	520.5	67.8
	23	21,000	1,467.0	932.9	804.7	128.2	534.4	69.9
対前年比 (%) 22/21	94.8	98.9	97.8	97.8	97.7	101.1	-	
	23/22	95.9	98.9	96.8	97.0	95.6	102.7	-
構 成 比 (%) 平成 21年	-	100.0	65.7	56.5	9.1	34.3	-	
	22	-	100.0	64.9	55.9	9.0	35.1	-
	23	-	100.0	63.6	54.9	8.7	36.4	-

(2) 成畜（満2歳以上の牛）頭数規模別飼養戸数・頭数

乳用牛の飼養戸数・頭数を成畜（満2歳以上の牛）頭数規模別（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。以下、飼養頭数規模別飼養戸数・頭数において同じ。）に飼養戸数をみると、前年に比べて「100頭以上」の階層で1.1%増加し、その他の階層で減少した。

また、飼養頭数は前年に比べて、「1～19頭」の階層で1.3%、「100頭以上」の階層で3.0%増加し、その他の階層で減少した。

なお、飼養頭数規模別の飼養頭数割合は「100頭以上」の階層が約3割を占めている。

図2 乳用牛の成畜頭数規模別飼養戸数・頭数の構成比

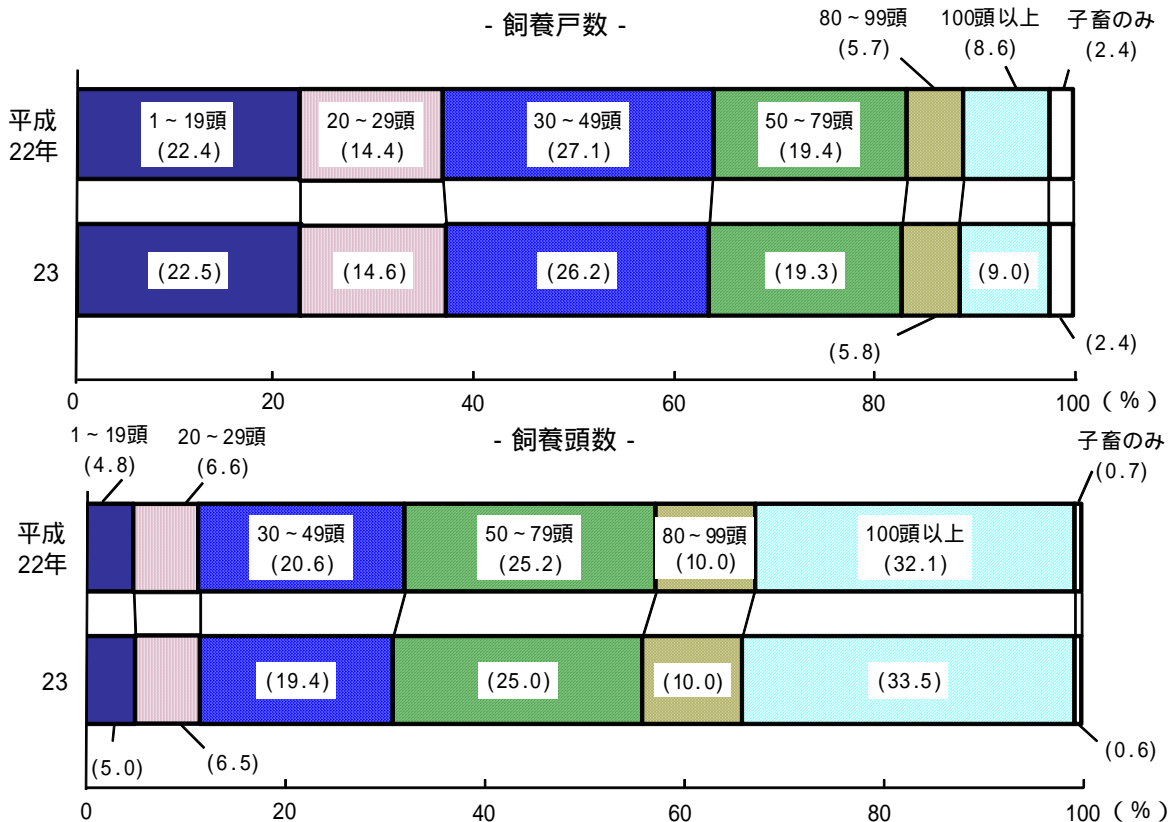


表2 乳用牛の成畜頭数規模別飼養戸数・頭数

区分	単位	計	成畜頭数規模								子畜のみ	
			小計	1～19頭	20～29	30～49	50～79	80～99	100頭以上	300頭以上		
飼養戸数												
実数	平成22年	戸	21,700	21,200	4,870	3,120	5,880	4,210	1,240	1,860	158	517
	23	"	20,800	20,300	4,690	3,030	5,450	4,010	1,200	1,880	211	489
対前年比	23/22	%	95.9	95.8	96.3	97.1	92.7	95.2	96.8	101.1	133.5	94.6
構成比	平成22年	"	100.0	97.7	22.4	14.4	27.1	19.4	5.7	8.6	0.7	2.4
	23	"	100.0	97.6	22.5	14.6	26.2	19.3	5.8	9.0	1.0	2.4
飼養頭数												
実数	平成22年	千頭	1,460.0	1,450.0	70.7	95.9	300.2	368.1	146.4	468.5	109.2	9.8
	23	"	1,442.0	1,433.0	71.6	94.2	280.2	359.9	144.6	482.7	132.5	8.8
対前年比	23/22	%	98.8	98.8	101.3	98.2	93.3	97.8	98.8	103.0	121.3	89.8
構成比	平成22年	"	100.0	99.3	4.8	6.6	20.6	25.2	10.0	32.1	7.5	0.7
	23	"	100.0	99.4	5.0	6.5	19.4	25.0	10.0	33.5	9.2	0.6

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。

### (3) 乳用牛飼養者の経営耕地面積・飼料作物作付実面積

乳用牛飼養者（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）のうち、調査期直前の1年間（平成22年2月～平成23年1月。以下同じ。）に飼料作物を作付けした戸数は1万8,600戸で、乳用牛飼養者の89.4%となっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道、東北及び九州において乳用牛飼養者の9割以上が飼料作物を作付けしている。

図3 乳用牛飼養者の飼料作物作付戸数割合

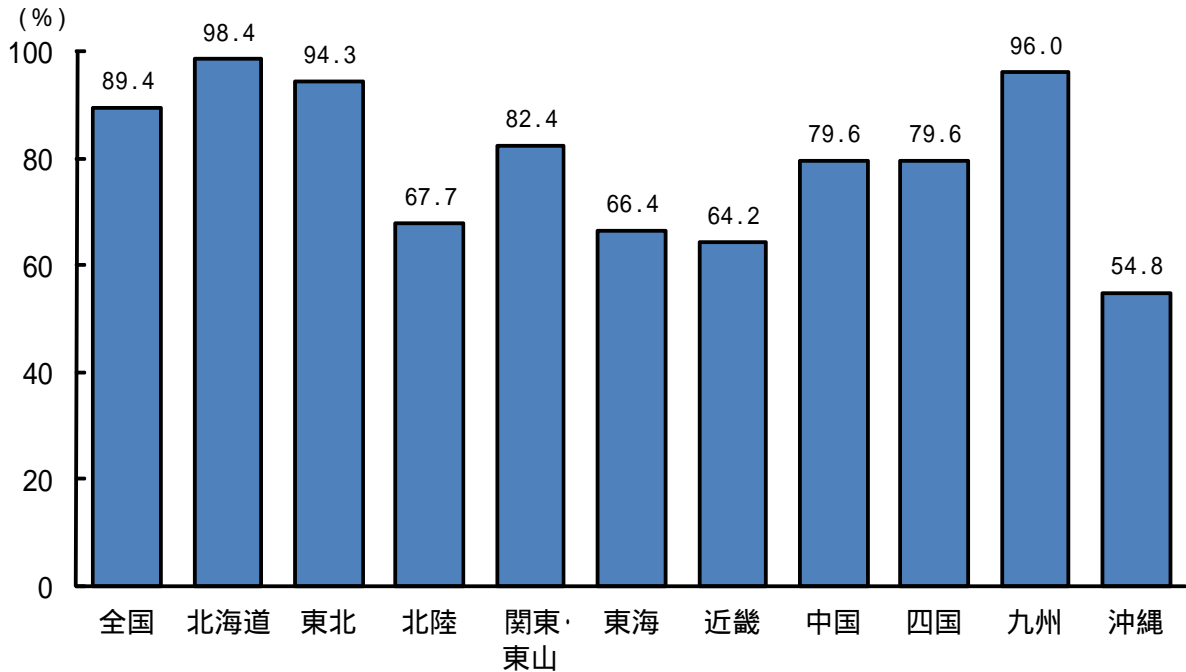


表3 乳用牛飼養者の経営耕地面積・飼料作物作付実面積

区分	飼養戸数	飼料作物作付戸数	飼料作物作付戸数割合	経営耕地面積	飼料作物作付実面積
	戸	戸	%	ha	ha
全国	20,800	18,600	89.4	513,600	482,000
北海道	7,460	7,340	98.4	431,500	410,700
東北	3,340	3,150	94.3	35,600	29,600
北陸	440	298	67.7	2,250	1,750
関東・東山	4,250	3,500	82.4	20,300	18,300
東海	929	617	66.4	3,230	2,950
近畿	743	477	64.2	1,270	910
中国	988	786	79.6	4,900	4,270
四国	509	405	79.6	1,300	1,140
九州	2,020	1,940	96.0	13,000	12,300
沖縄	84	46	54.8	180	170

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。

#### (4) 乳用牛の放牧状況

乳用牛飼養者（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）のうち、調査期日前の1年間に乳用牛の放牧を行った戸数は6,400戸で、乳用牛飼養者の30.8%となっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道では66.6%の飼養者が放牧を行っており、その他の地域を大きく上回っている。

図4 乳用牛飼養者の放牧実施戸数割合

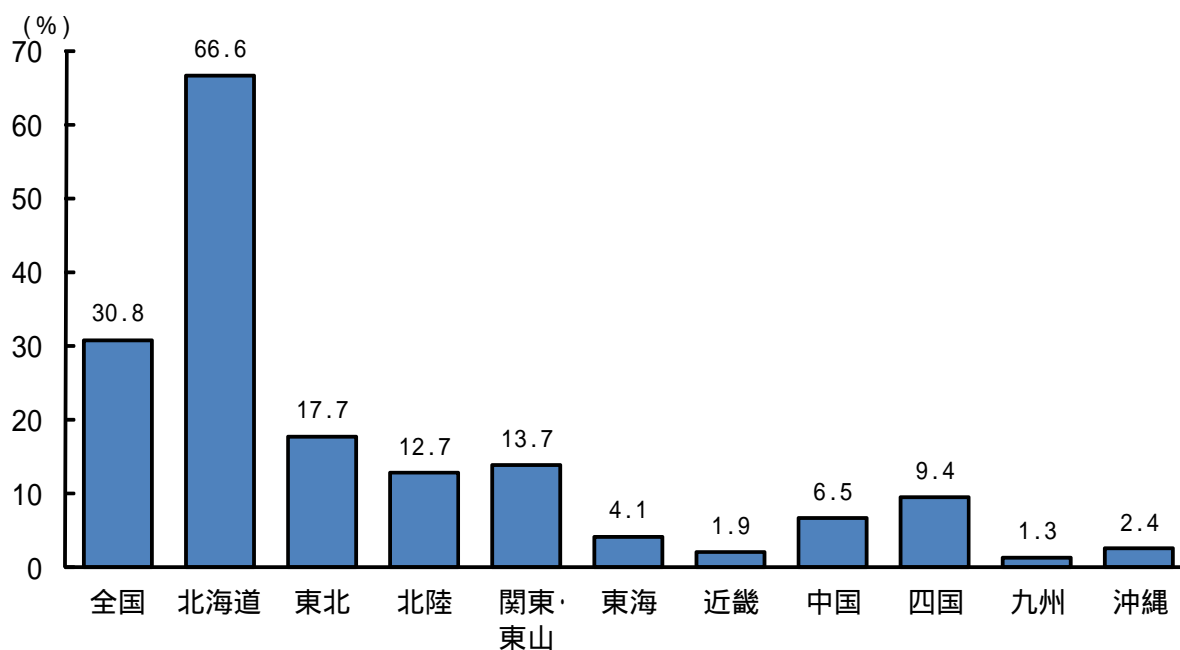


表4 乳用牛の放牧状況

区分	飼養戸数	放牧をしている戸数	放牧実施戸数割合	放牧頭数
	戸	戸	%	頭
全国	20,800	6,400	30.8	287,900
北海道	7,460	4,970	66.6	265,100
東北	3,340	592	17.7	8,950
北陸	440	56	12.7	380
関東・東山	4,250	583	13.7	8,600
東海	929	38	4.1	1,110
近畿	743	14	1.9	220
中国	988	64	6.5	1,490
四国	509	48	9.4	990
九州	2,020	26	1.3	1,020
沖縄	84	2	2.4	x

注: この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。

## 2 肉用牛

### (1) 飼養戸数・頭数

平成23年の全国の肉用牛の飼養戸数は6万9,600戸で、前年に比べて4,800戸(6.5%)減少した。

飼養頭数は276万3,000頭で、前年に比べて12万9,000頭(4.5%)減少した。飼養頭数の内訳をみると、肉用種は186万8,000頭で前年に比べて5万6,000頭(2.9%)減少し、乳用種は89万4,800頭で前年に比べて7万3,500頭(7.6%)減少した。

また、乳用種のうち、ホルスタイン種他は41万1,800頭で前年に比べて9,200頭(2.2%)減少し、交雑種(F1牛、F1クロス牛)は48万3,000頭で前年に比べて6万4,300頭(11.7%)減少した。

なお、1戸当たり飼養頭数は、39.7頭で前年に比べて0.8頭増加した。

図5 肉用牛の飼養戸数・頭数の推移

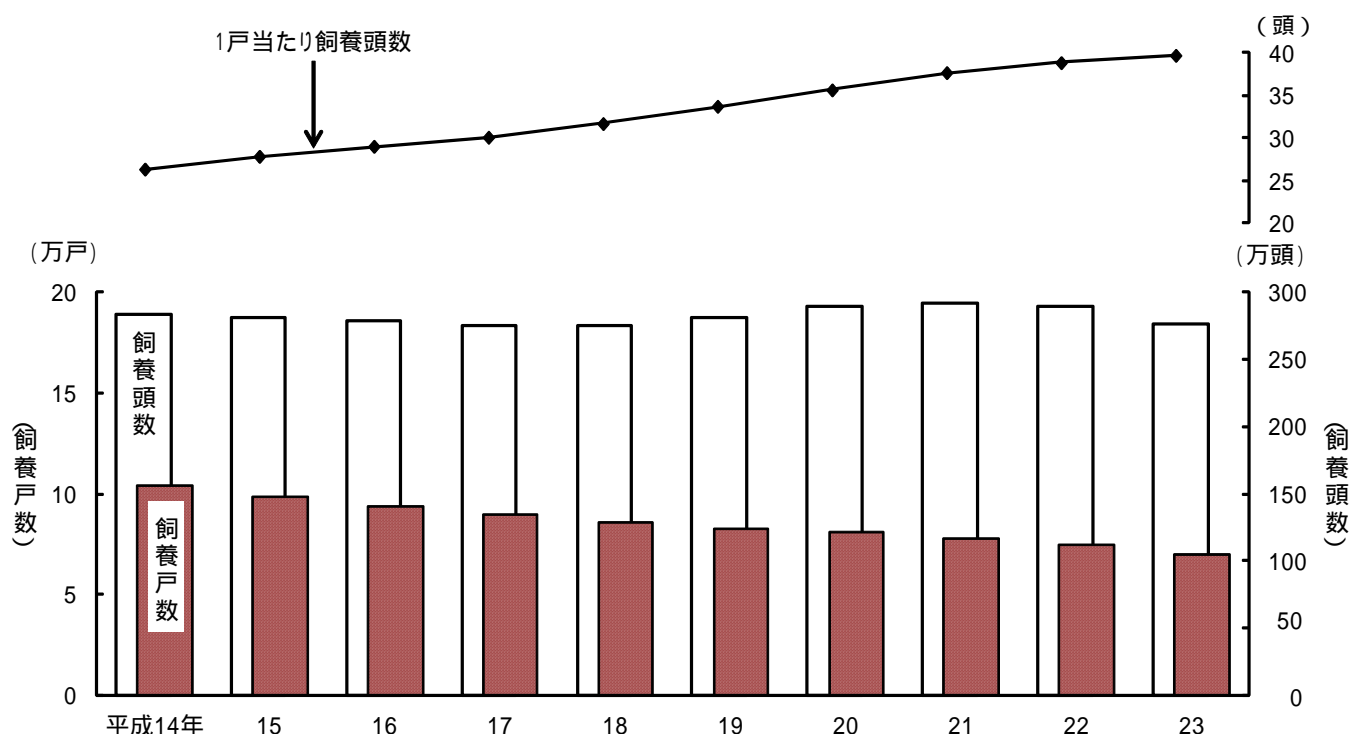


表5 肉用牛の飼養戸数・頭数

区分	飼養戸数	飼養頭数					1戸当たり飼養頭数
		計	肉用種	乳用種			
				小計	ホルスタイン種他	交雑種	
戸	千頭	千頭	千頭	千頭	千頭	頭	
実数 平成21年	77,300	2,923.0	1,889.0	1,033.0	411.3	622.1	37.8
22	74,400	2,892.0	1,924.0	968.3	421.0	547.3	38.9
23	69,600	2,763.0	1,868.0	894.8	411.8	483.0	39.7
対前年比(%) 22/21	96.2	98.9	101.9	93.7	102.4	88.0	-
23/22	93.5	95.5	97.1	92.4	97.8	88.3	-
構成比(%) 平成21年	-	100.0	64.6	35.3	14.1	21.3	-
22	-	100.0	66.5	33.5	14.6	18.9	-
23	-	100.0	67.6	32.4	14.9	17.5	-

## (2) 飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

### ア 総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

総飼養頭数規模別にみると、飼養戸数は前年に比べて「50～99頭」の階層で3.0%、「100～199頭」の階層で2.4%増加し、その他の階層で減少した。

また、飼養頭数は前年に比べて「50～99頭」の階層で0.8%、「100～199頭」の階層で2.7%増加し、その他の階層で減少した。

なお、「200頭以上」の階層で飼養頭数の半数を占めている。

図6 肉用牛の総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数の構成比

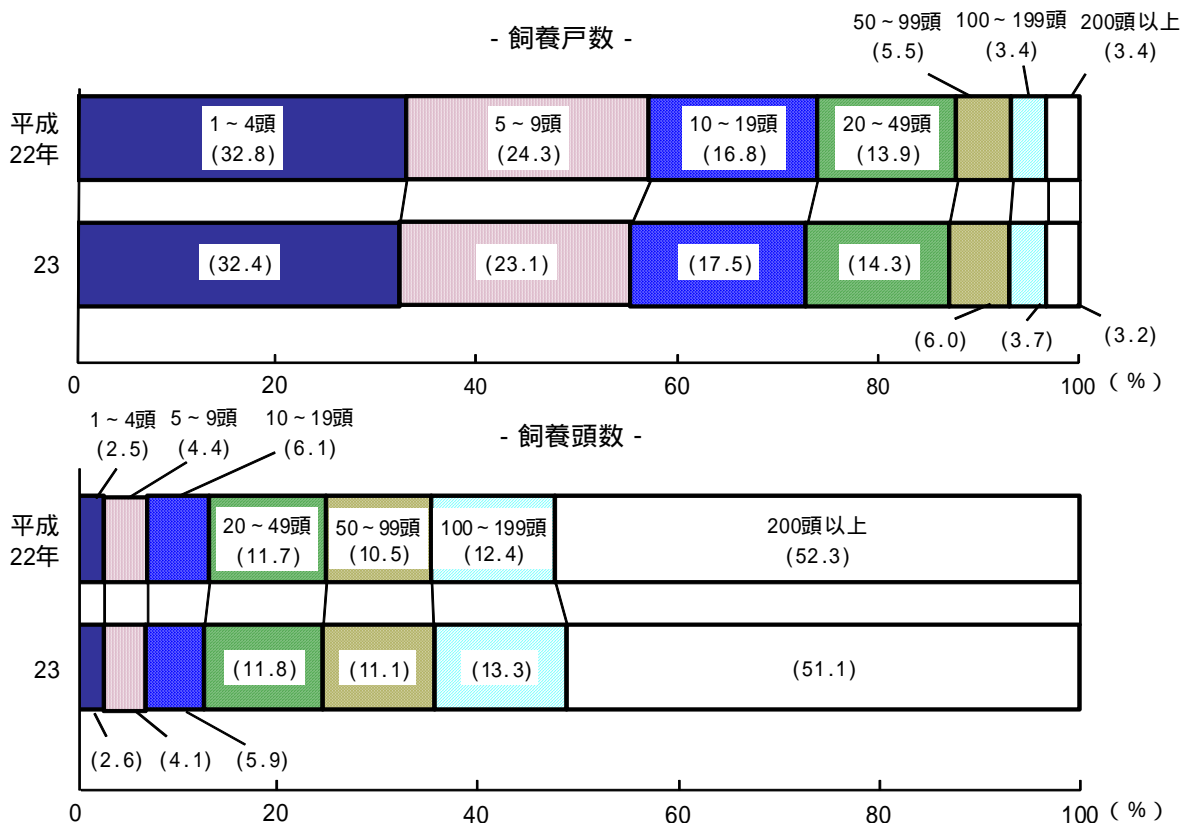


表6 肉用牛の総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

区 分	単 位	総 飼 養 頭 数 規 模									
		計	1～4頭	5～9	10～19	20～49	50～99	100～199	200頭以上	500頭以上	
飼 養 戸 数	実 数 平成 22年	戸	74,000	24,300	18,000	12,400	10,300	4,050	2,480	2,510	760
	23	"	69,200	22,400	16,000	12,100	9,880	4,170	2,540	2,190	780
	対前年比 23/22	%	93.5	92.2	88.9	97.6	95.9	103.0	102.4	87.3	102.6
	構 成 比 平成 22年	"	100.0	32.8	24.3	16.8	13.9	5.5	3.4	3.4	1.0
	23	"	100.0	32.4	23.1	17.5	14.3	6.0	3.7	3.2	1.1
飼 養 頭 数	実 数 平成 22年	千頭	2,858.0	72.0	127.1	173.6	335.5	301.4	355.1	1,494.0	961.8
	23	"	2,736.0	71.0	112.6	162.7	321.9	303.7	364.8	1,399.0	947.5
	対前年比 23/22	%	95.7	98.6	88.6	93.7	95.9	100.8	102.7	93.6	98.5
	構 成 比 平成 22年	"	100.0	2.5	4.4	6.1	11.7	10.5	12.4	52.3	33.7
	23	"	100.0	2.6	4.1	5.9	11.8	11.1	13.3	51.1	34.6

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。

イ 肉用種の目的別飼養頭数別飼養戸数

(ア) 子取り用めす牛

肉用種の子取り用めす牛を飼養している戸数は5万9,100戸で、肉用牛飼養戸数の85.4%となっている。

飼養頭数規模別にみると、前年に比べて「50～99頭」の階層で増加し、その他の階層で減少した。

表7 子取り用めす牛の飼養頭数規模別飼養戸数

単位：戸

区 分	肉用牛の飼養戸数	子 取 り 用 め す 牛 飼 養 頭 数 規 模								子取り用めす牛なし
		計	1～4頭	5～9	10～19	20～49	50～99	100頭以上		
実 数 平成 22年	74,000	63,900	31,800	15,800	9,120	5,640	1,190	439	10,100	
23	69,200	59,100	29,600	13,500	8,840	5,470	1,280	400	10,100	
対前年比（% 23/22	93.5	92.5	93.1	85.4	96.9	97.0	107.6	91.1	100.0	
構 成 比（% 平成 22年	100.0	86.4	43.0	21.4	12.3	7.6	1.6	0.6	13.6	
23	100.0	85.4	42.8	19.5	12.8	7.9	1.8	0.6	14.6	

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。

(1) 肥育用牛

肉用種の肥育用牛を飼養している戸数は1万1,200戸で、肉用牛飼養戸数の16.2%となっている。

飼養頭数規模別にみると、前年に比べて「1～9頭」、「20～29頭」及び「30～49頭」の階層で増加し、その他の階層で減少した。

表8 肥育用牛の飼養頭数規模別飼養戸数

単位：戸

区 分	肉用牛の飼養戸数	肥 育 用 牛 飼 養 頭 数 規 模									肥育用牛なし
		計	1～9頭	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200頭以上	500頭以上	
実 数 平成 22年	74,000	11,700	4,510	1,640	842	991	1,540	1,170	1,010	249	62,300
23	69,200	11,200	4,670	1,090	874	1,240	1,350	1,110	896	252	58,000
対前年比（% 23/22	93.5	95.7	103.5	66.5	103.8	125.1	87.7	94.9	88.7	101.2	93.1
構 成 比（% 平成 22年	100.0	15.8	6.1	2.2	1.1	1.3	2.1	1.6	1.4	0.3	84.2
23	100.0	16.2	6.7	1.6	1.3	1.8	2.0	1.6	1.3	0.4	83.8

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。

ウ 乳用種の飼養頭数規模別飼養戸数

肉用の乳用種（乳廃牛は除く。）を飼養している戸数は6,110戸で、肉用牛飼養戸数の8.8%となっている。

飼養頭数規模別にみると、前年に比べて「1～4頭」の階層で増加し、その他の階層で減少した。

表9 乳用種の飼養頭数規模別飼養戸数

単位：戸

区 分	肉用牛の飼養戸数	乳 用 種 飼 養 頭 数 規 模								乳用種なし
		計	1～4頭	5～19	20～49	50～99	100～199	200頭以上	500頭以上	
実 数 平成 22年	74,000	6,370	1,830	1,200	824	627	721	1,170	403	67,700
23	69,200	6,110	2,200	894	666	581	705	1,070	394	63,100
対前年比（% 23/22	93.5	95.9	120.2	74.5	80.8	92.7	97.8	91.5	97.8	93.2
構 成 比（% 平成 22年	100.0	8.6	2.5	1.6	1.1	0.8	1.0	1.6	0.5	91.5
23	100.0	8.8	3.2	1.3	1.0	0.8	1.0	1.5	0.6	91.2

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。

### (3) 肉用牛飼養者の経営耕地面積・飼料作物作付面積の状況

肉用牛飼養者（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）のうち、調査期日前の1年間に飼料作物を作付けした戸数は5万8,000戸で肉用牛飼養者の83.8%となっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道及び九州で肉用牛飼養者の約9割が飼料作物を作付けしている。

図7 肉用牛飼養者の飼料作物作付戸数割合

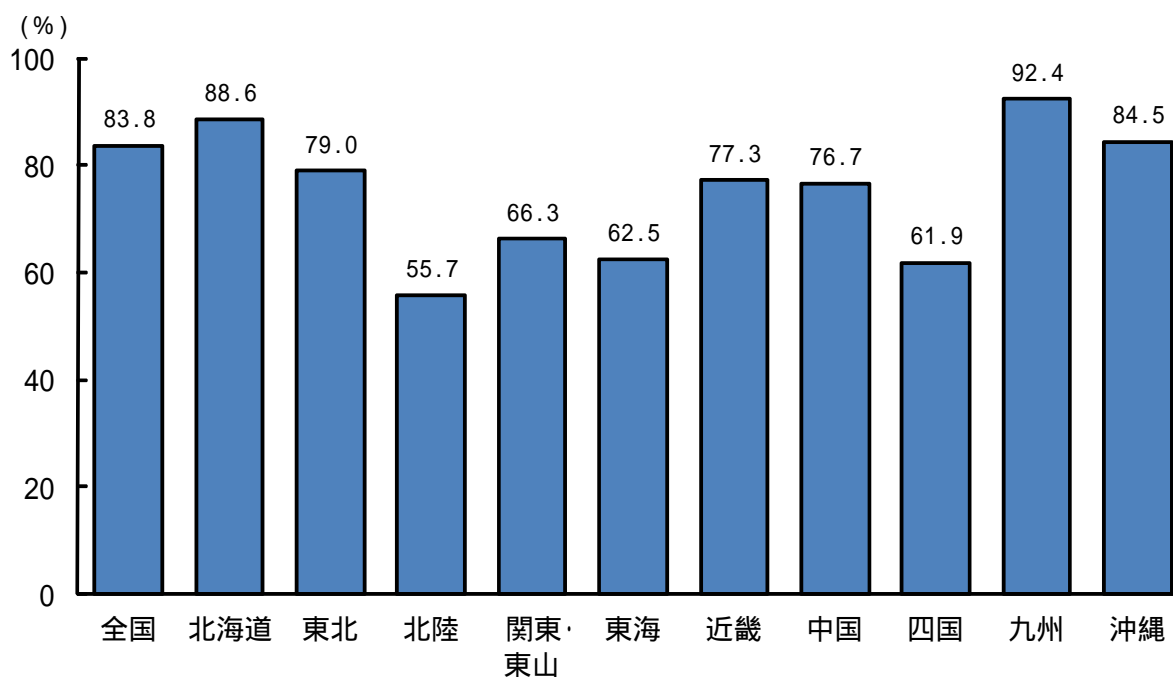


表10 肉用牛飼養者の経営耕地面積・飼料作物作付実面積

区分	飼養戸数	飼料作物作付戸数	飼料作物作付戸数割合	経営耕地面積	飼料作物作付実面積
	戸	戸	%	ha	ha
全国	69,200	58,000	83.8	265,000	189,300
北海道	2,970	2,630	88.6	92,600	80,100
東北	19,500	15,400	79.0	74,700	40,000
北陸	517	288	55.7	1,510	760
関東・東山	4,240	2,810	66.3	12,000	6,620
東海	1,470	919	62.5	2,270	1,390
近畿	2,160	1,670	77.3	2,640	1,300
中国	3,900	2,990	76.7	8,030	3,980
四国	1,000	619	61.9	1,380	730
九州	30,300	28,000	92.4	61,300	48,600
沖縄	3,100	2,620	84.5	8,560	5,800

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。



#### (4) 肉用牛の放牧状況

肉用牛飼養者（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）のうち、調査期日前の1年間に肉用牛の放牧を行った戸数は8,940戸で、肉用牛飼養者の12.9%となっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道では37.4%の飼養者が放牧を行っており、その他の地域を大きく上回っている。

図8 肉用牛飼養者の放牧実施戸数割合

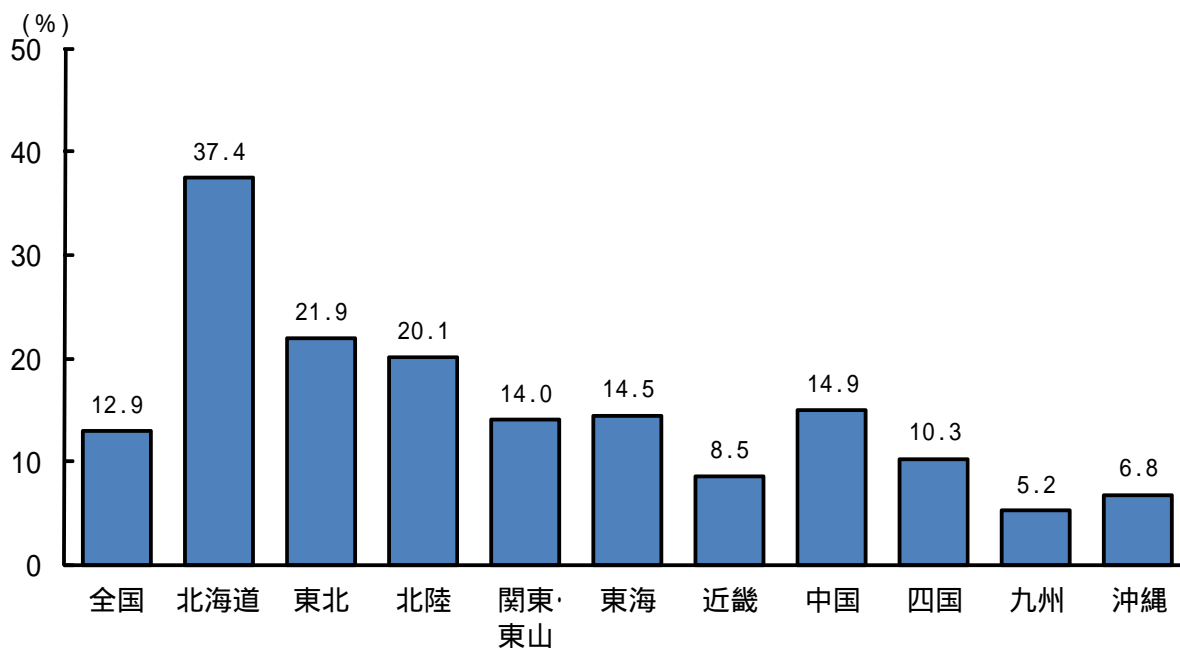


表11 肉用牛の放牧状況

区分	飼養戸数	放牧をしている戸数	放牧実施戸数割合	放牧頭数
	戸	戸	%	頭
全国	69,200	8,940	12.9	107,300
北海道	2,970	1,110	37.4	37,200
東北	19,500	4,280	21.9	28,200
北陸	517	104	20.1	550
関東・東山	4,240	593	14.0	5,120
東海	1,470	213	14.5	1,940
近畿	2,160	184	8.5	1,810
中国	3,900	583	14.9	6,140
四国	1,000	103	10.3	1,250
九州	30,300	1,570	5.2	18,600
沖縄	3,100	211	6.8	6,470

注: この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。

### 3 豚

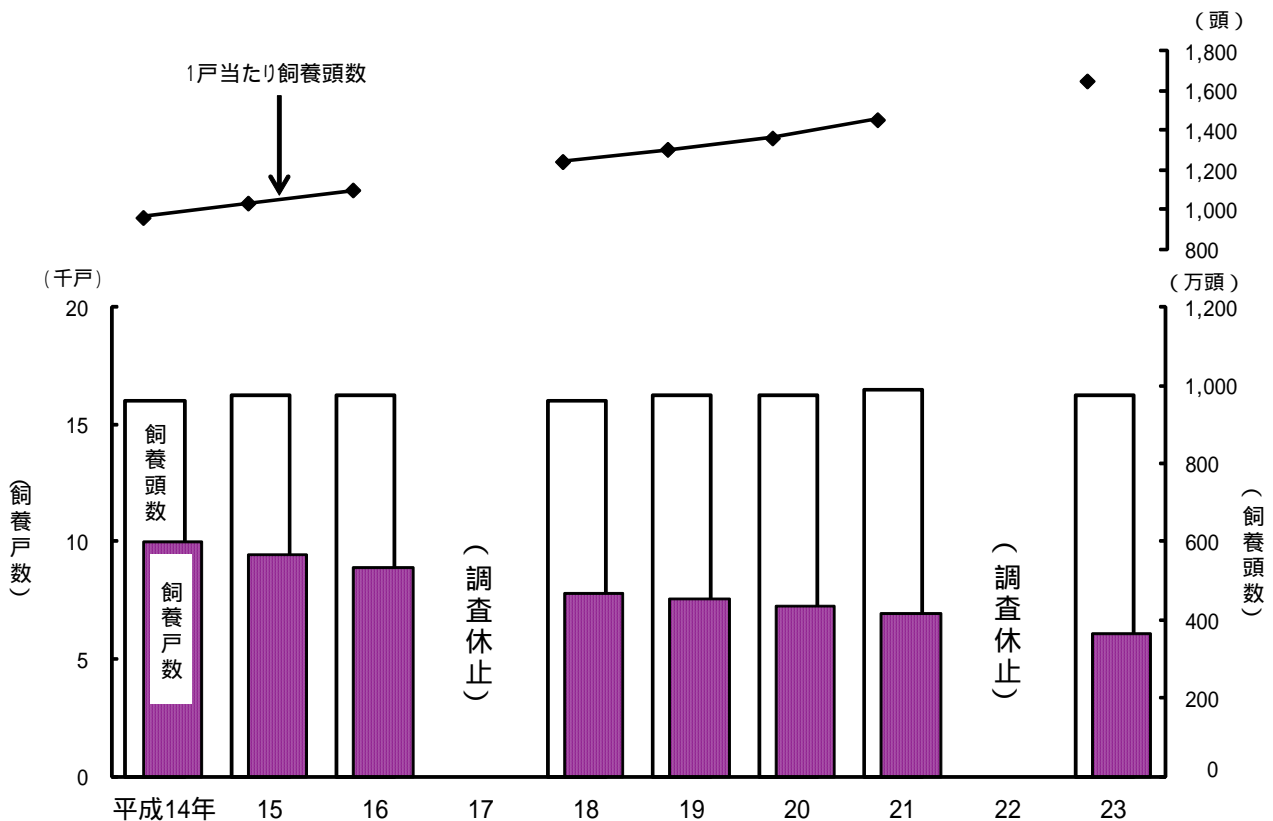
#### (1) 飼養戸数・頭数

平成23年の全国の豚の飼養戸数は6,010戸で、前回（平成21年2月1日現在調査、以下同じ。）に比べて880戸（12.8%）減少した。

飼養頭数は976万8,000頭で、前回に比べて13万1,000頭（1.3%）減少した。飼養頭数の内訳をみると、子取り用めす豚は90万1,800頭で前回に比べて3万4,900頭（3.7%）減少し、肥育豚は818万6,000頭で前回に比べて3万4,000頭（0.4%）減少した。

なお、1戸当たり飼養頭数は1,625.3頭で前回に比べて188.6頭増加し、1戸当たり子取り用めす豚飼養頭数は176.5頭で前回に比べて18.5頭増加した。

図9 豚の飼養戸数・頭数の推移



注：平成17年は2005年農林業センサス、22年は2010年世界農林業センサス実施年のため、調査を休止した。

表12 豚の飼養戸数・頭数

区分	飼養戸数		飼 養 頭 数					1戸当たり飼養頭数	子取り用めす豚
	飼養戸数	子取り用めす豚のいる戸数	計	子取り用めす豚	種おす豚	肥育豚	その他		
	戸	戸	千頭	千頭	千頭	千頭	千頭	頭	頭
実数 平成 20年	7,230	6,250	9,745.0	910.1	57.4	8,117.0	660.9	1,347.9	145.6
21	6,890	5,930	9,899.0	936.7	57.1	8,220.0	685.7	1,436.7	158.0
23	6,010	5,110	9,768.0	901.8	51.8	8,186.0	628.7	1,625.3	176.5
対前年比 21/20	95.3	94.9	101.6	102.9	99.5	101.3	103.8	-	-
(%) 23/21	87.2	86.2	98.7	96.3	90.7	99.6	91.7	-	-
構成比 平成 20年	100.0	86.4	100.0	9.3	0.6	83.3	6.8	-	-
(%) 21	100.0	86.1	100.0	9.5	0.6	83.0	6.9	-	-
23	100.0	85.0	100.0	9.2	0.5	83.8	6.4	-	-

注：平成22年は2010年世界農林業センサス実施年のため、調査を休止した（以下、表13～15について同じ。）。

(2) 肥育豚飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

肥育豚飼養頭数規模別にみると、飼養戸数は前回に比べて全ての階層で減少した。

また、飼養頭数は前回に比べて「2,000頭以上」の階層で4.4%増加し、その他の階層で減少した。

なお、「2,000頭以上」の階層で飼養頭数の約7割を占めている。

図10 豚の肥育豚飼養頭数規模別飼養戸数・頭数の構成比

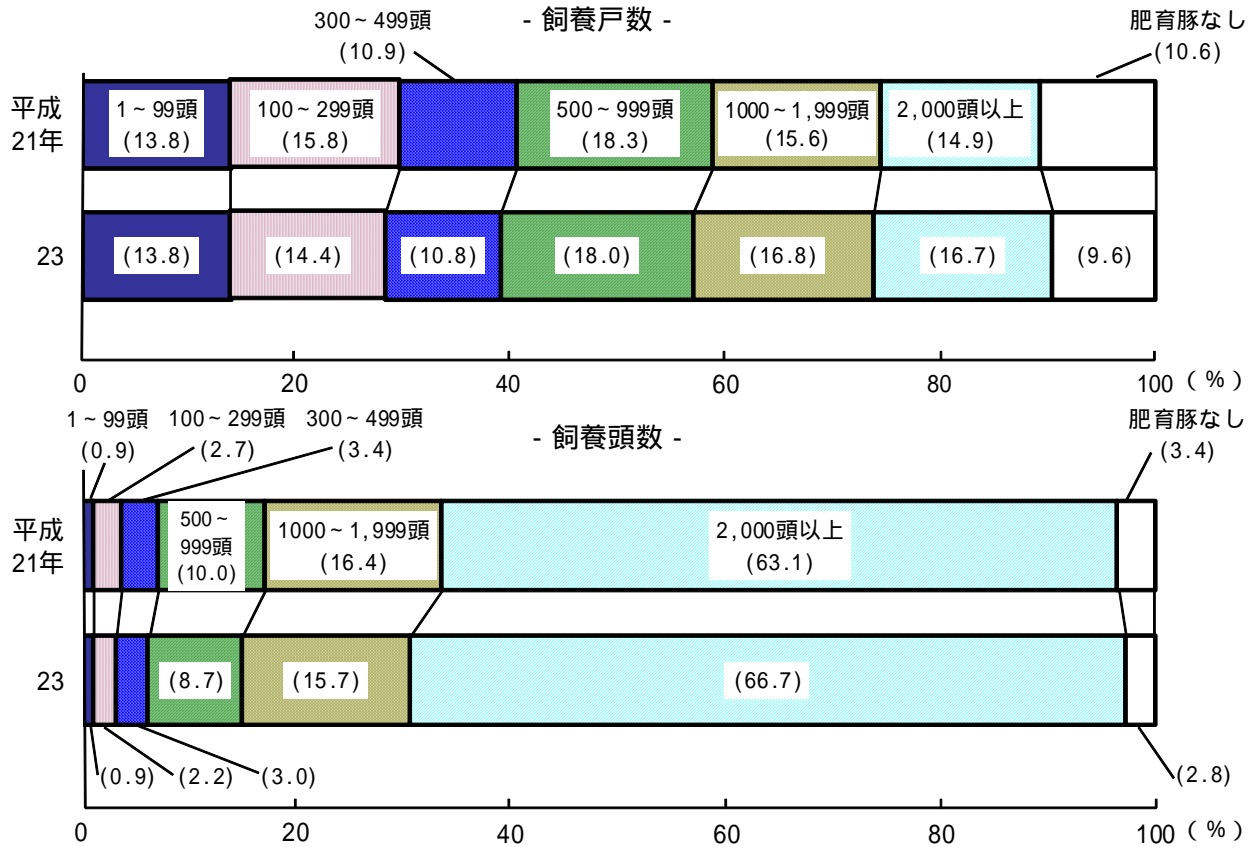


表13 豚の肥育豚飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

区分	単位	計	肥育豚飼養頭数規模								肥育豚なし	
			小計	1~99頭	100~299	300~499	500~999	1,000~1,999	2,000頭以上	うち、3,000頭以上		
飼養戸数												
実数	平成21年	戸	6,710	6,000	927	1,060	731	1,230	1,050	1,000	590	712
	23	"	5,840	5,280	808	841	631	1,050	983	973	600	558
対前年比	23/21	%	87.0	88.0	87.2	79.3	86.3	85.4	93.6	97.3	101.7	78.4
構成比	平成21年	"	100.0	89.4	13.8	15.8	10.9	18.3	15.6	14.9	8.8	10.6
	23	"	100.0	90.4	13.8	14.4	10.8	18.0	16.8	16.7	10.3	9.6
飼養頭数												
実数	平成21年	千頭	9,856.0	9,516.0	88.7	270.4	334.2	989.5	1,614.0	6,219.0	4,998.0	340.0
	23	"	9,726.0	9,457.0	86.5	215.8	288.2	844.6	1,530.0	6,492.0	5,355.0	269.3
対前年比	23/21	%	98.7	99.4	97.5	79.8	86.2	85.4	94.8	104.4	107.1	79.2
構成比	平成21年	"	100.0	96.6	0.9	2.7	3.4	10.0	16.4	63.1	50.7	3.4
	23	"	100.0	97.2	0.9	2.2	3.0	8.7	15.7	66.7	55.1	2.8

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。

#### 4 採卵鶏

##### (1) 飼養戸数・羽数

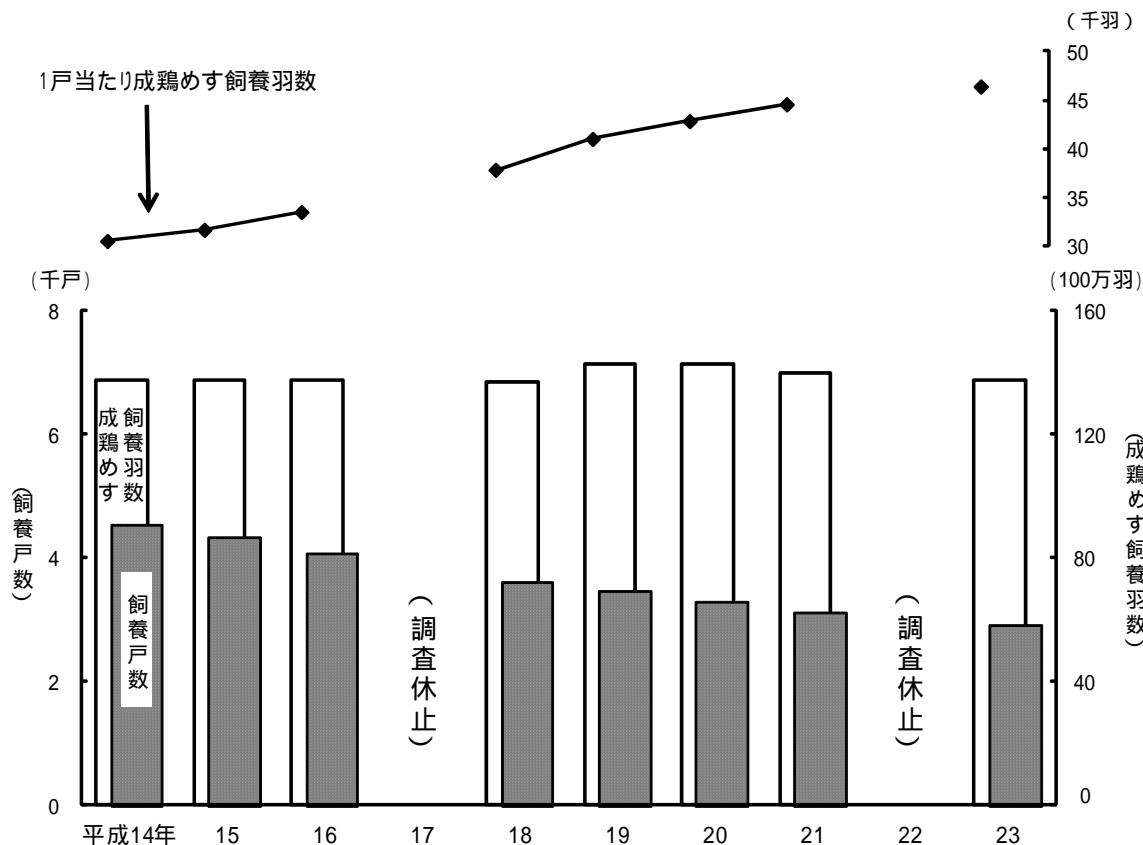
平成23年の全国の採卵鶏の飼養戸数は2,930戸で、前回（平成21年2月1日現在調査、以下同じ。）に比べて180戸（5.8%）減少した。

飼養羽数は1億7,591万7,000羽で、前回に比べて229万1,000羽（1.3%）減少した。

このうち、成鶏めすの飼養羽数は1億3,735万2,000羽で前回に比べて255万8,000羽（1.8%）減少した。

なお、1戸当たり成鶏めす飼養羽数は4万6,900羽で前回に比べて1,900羽増加した。

図11 採卵鶏の飼養戸数・羽数の推移



注：平成17年は2005年農林業センサス、22年は2010年世界農林業センサス実施年のため、調査を休止した。

表14 採卵鶏の飼養戸数・羽数

区 分	採卵鶏の飼養戸数	飼 養 羽 数			1戸当たり成鶏めす飼養羽数
		計	採卵鶏(種鶏を除く)	成鶏めす(6か月以上)	
	戸	千羽	千羽	千羽	千羽
実 数 平成 20年	3,300	184,773	181,664	142,523	43.2
21	3,110	180,994	178,208	139,910	45.0
23	2,930	178,546	175,917	137,352	46.9
対前年比(%) 21/20	94.2	98.0	98.1	98.2	-
23/21	94.2	98.6	98.7	98.2	-
構 成 比 (%) 平成 20年	-	100.0	98.3	77.1	-
21	-	100.0	98.5	77.3	-
23	-	100.0	98.5	76.9	-

注：飼養戸数には種鶏のみの飼養者及び成鶏めす1千羽未満の飼養者を除いている。

(2) 成鶏めす飼養羽数規模別飼養戸数・成鶏めす飼養羽数

成鶏めす飼養羽数規模別にみると、飼養戸数は前年に比べて全ての階層で減少した。

また、成鶏めす飼養羽数は前年に比べて「1,000～4,999羽」の階層で8.4%増加し、その他の階層で前年並み又は減少した。

なお、「100,000羽以上」の階層で飼養羽数の約7割を占めている。

図12 成鶏めす飼養羽数規模別飼養戸数・成鶏めす飼養羽数の構成比

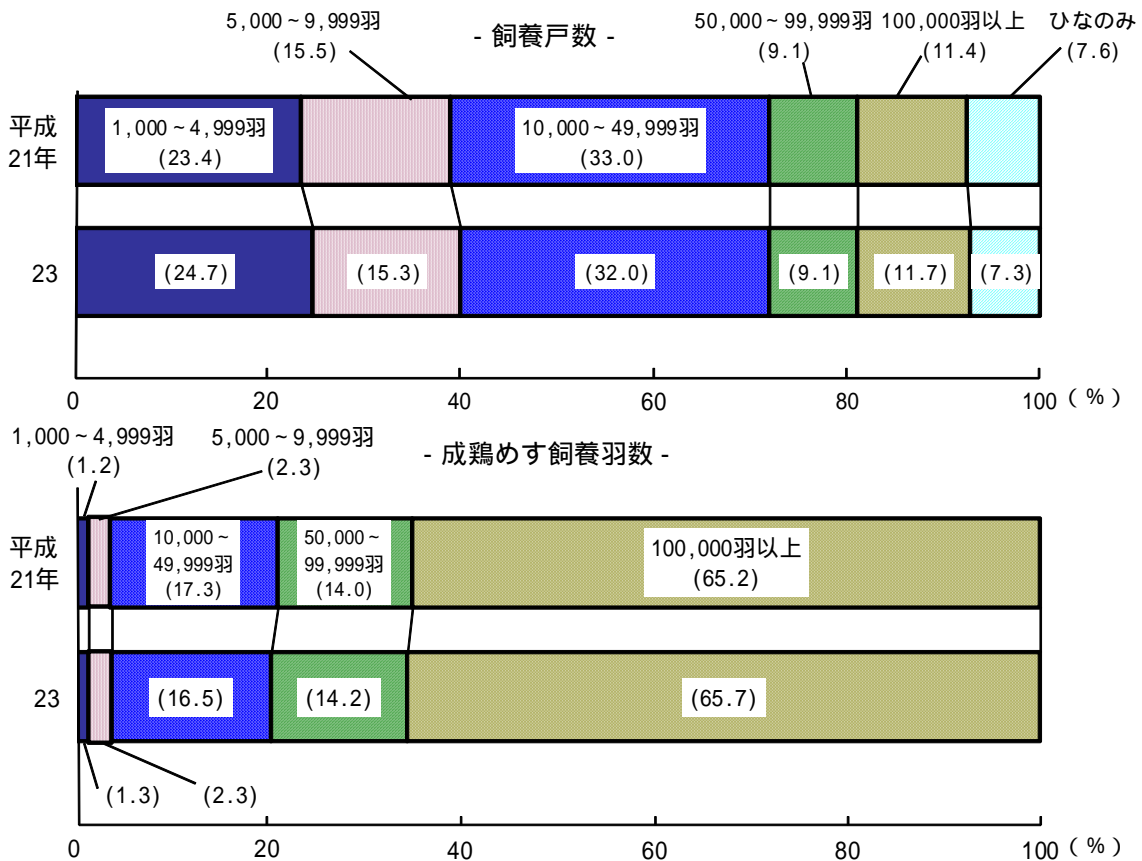


表15 成鶏めす飼養羽数規模別飼養戸数・成鶏めす飼養羽数

区分	単位	計	成鶏めす飼養羽数規模					ひなのみ	
			1000～4,999	5,000～9,999	10,000～49,999	50,000～99,999	100,000羽以上		
飼養戸数	実数 平成21年	戸	3,060	716	473	1,010	277	350	233
	23	"	2,880	712	442	922	263	336	209
	対前回比 23/21	%	94.1	99.4	93.4	91.3	94.9	96.0	89.7
	構成比 平成21年	"	100.0	23.4	15.5	33.0	9.1	11.4	7.6
	23	"	100.0	24.7	15.3	32.0	9.1	11.7	7.3
成鶏めす飼養羽数	実数 平成21年	千羽	139,588	1,685	3,246	24,140	19,516	91,001	-
	23	"	137,187	1,826	3,110	22,655	19,513	90,083	-
	対前回比 23/21	%	98.3	108.4	95.8	93.8	100.0	99.0	-
	構成比 平成21年	"	100.0	1.2	2.3	17.3	14.0	65.2	-
	23	"	100.0	1.3	2.3	16.5	14.2	65.7	-

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者を含まない。